



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日 東

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋元 直行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1236
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,235	△1.1	△16	—	△13	—	△15	—
26年3月期第1四半期	1,249	7.6	15	—	10	—	9	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1百万円(△90.9%) 26年3月期第1四半期 17百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△1.24	—
26年3月期第1四半期	0.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,973	867	867	867	16.8
26年3月期	4,845	865	865	865	17.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 835百万円 26年3月期 834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,550	1.0	5	△79.2	0	—	35	191.7	2.85
通期	5,250	△1.9	55	△8.5	40	13.6	70	175.9	5.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	12,317,000株	26年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	48,078株	26年3月期	47,478株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	12,269,322株	26年3月期1Q	12,269,872株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動により、個人消費が減少し、住宅建設の鈍化が見られるものの、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策を背景に緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国をはじめとした新興国経済の減速やウクライナ情勢が懸念され、また、円安による原材料やエネルギーコストの上昇等、景気の先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループの主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設業界向けは、第1四半期における新設住宅着工戸数が、218千戸(前年同期四半期比9.3%減)と3月以降前年割れとなっており、消費税増税の反動の影響もあり、釘の需要は減少しました。一方、梱包業界向けの需要は、依然弱含みで推移しました。また、電気・輸送機器向事業は、需要家の現地調達化及び輸入品へのシフトは、円安基調を受けその動きは止まっており、特に、弱電・OA関係に引き続いて、平成24年から海外移転が急激に進んでいた自動車向けもその動きは沈静化してきています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,235百万円と前年同四半期と比べ13百万円(1.1%減)の減収となりました。営業損益は、円安による輸入商品コストの高止まりと電力料・外注加工費、運搬費等のコスト増により、16百万円の損失(前年同四半期は15百万円の利益)となり、経常損益は、13百万円の損失(前年同四半期は10百万円の利益)となりました。また、四半期純損益は15百万円の損失(前年同四半期は9百万円の利益)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、消費税増税前の駆け込み需要の反動により、釘の需要は減少し、輸入商品価格の高止まりや電力料等の製造コストの上昇分を販売価格に十分に転嫁できなかったことにより、収益は悪化しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比4.9%減の954百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ28百万円減少し、30百万円となりました。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、需要家の現地調達化及び輸入品へのシフトの動きは止まり、海外移転が急激に進んだ自動車向けもその動きは沈静化したが、外注加工費等の製造コストが増加した結果、当事業の売上高は、前年同四半期比14.5%増の281百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ4百万円減少し、1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は4,973百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比127百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ33百万円増加し、2,828百万円となりました。これは主に現金及び預金が23百万円増加し、商品及び製品が見込みより出荷量が下回ったため95百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が前年度末に比べ96百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ93百万円増加し、2,144百万円となりました。これは有形固定資産が、設備投資116百万円に対して減価償却費が30百万円であり、投資有価証券が第1四半期連結会計期間末の株価の上昇により、14百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前年度末に比べ126百万円増加し、4,105百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ17百万円減少し、2,789百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものであります。固定負債は、前年度末に比べ143百万円増加し、1,316百万円となりました。これは、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、867百万円となり、前年度末に比べ1百万円増加しました。これは、当第1四半期連結累計期間の四半期純損失が15百万円であったものの、その他有価証券評価差額金が、投資有価証券の時価の上昇により、前年度末に比べ9百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の17.2%から16.8%となり、1株当たり純資産は68.02円から68.11円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月12日に発表した平成27年3月期の第2四半期(累計)及び通期連結業績予想は、この第1四半期決算短信の開示時点において、第2四半期連結累計会計期間では売上高及び損益が、予想の範囲以内で推移する見込みでありますので、修正しておりません。なお、業績に影響を与える事象が発生しましたら、適宜お知らせいたします。

尚、平成26年4月17日に発表いたしました、「固定資産の譲渡及び特別利益の発生に関するお知らせ」にある固定資産売却益については、平成27年3月期第2四半期の四半期連結財務諸表において計上する予定であります。

第2四半期連結会計期間以降のセグメント毎の業績見通しは、次の通りであります。

(建設・梱包向)

新設住宅着工は、平成26年3月以降4ヶ月連続で前年割れの状況となっており、消費税増税による駆け込みの反動の影響が出ておりますが、一方で、平成26年の新設住宅着工戸数が900千戸弱と予想されており、第2四半期連結会計期間以降、新設住宅着工は徐々に回復してくるものと思われれます。しかしながら、電気料金の更なる値上げに加え物流コストの上昇、円安による輸入商品の輸入コストの高止まりも懸念されるため、販売価格の値上げが最大の課題であると認識しております。今後とも、販売価格の改善と輸入品コストの低減に努め、当社の特許品である「木割れ最強釘」の拡販と新製品開発にも取り組んでまいります。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向事業は、前述のとおり、需要家の現地調達化及び輸入品へのシフトは、円安基調を受けその動きは止まっております。東北での自動車関連の事業の動きとして、自動車メーカーや一次部品メーカーが、部品調達にあたり、平成27年モデル(平成26年立ち上げ)への地場サプライヤーの起用を幅広く進めており、今後の需要の取り込みが期待できる状況となっております。また、新たに導入した多段冷間圧造設備による高付加価値製品の販売が加わることにより、今後の増収を見込んでおります。

以上のことにより、当連結会計年度(平成27年3月期)の通期業績見通しにつきましては、連結売上高5,250百万円、連結営業利益55百万円、連結経常利益40百万円、連結当期純利益70百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	447,563	471,525
受取手形及び売掛金	1,402,753	1,306,341
商品及び製品	553,537	649,052
仕掛品	179,725	181,987
原材料及び貯蔵品	189,028	183,772
繰延税金資産	9,455	9,455
その他	17,206	30,865
貸倒引当金	△4,273	△4,024
流動資産合計	2,794,996	2,828,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	552,744	550,399
機械装置及び運搬具(純額)	448,679	504,794
土地	793,421	793,421
その他(純額)	61,217	81,757
有形固定資産合計	1,856,062	1,930,372
無形固定資産		
ソフトウェア	17,882	17,426
その他	12,894	9,304
無形固定資産合計	30,777	26,730
投資その他の資産		
投資有価証券	119,526	134,339
その他	67,317	76,047
貸倒引当金	△23,389	△23,374
投資その他の資産合計	163,455	187,012
固定資産合計	2,050,294	2,144,115
資産合計	4,845,290	4,973,090

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	905,375	876,195
短期借入金	1,685,857	1,685,902
未払法人税等	1,521	1,698
賞与引当金	28,836	16,558
その他	185,086	209,188
流動負債合計	2,806,676	2,789,542
固定負債		
長期借入金	962,773	1,110,199
繰延税金負債	7,379	12,650
役員退職慰労引当金	19,967	12,521
退職給付に係る負債	180,015	178,182
資産除去債務	2,562	2,571
固定負債合計	1,172,697	1,316,125
負債合計	3,979,374	4,105,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	195,928	180,681
自己株式	△2,923	△2,972
株主資本合計	848,402	833,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,354	22,895
退職給付に係る調整累計額	△27,134	△20,351
その他の包括利益累計額合計	△13,780	2,543
少数株主持分	31,293	31,772
純資産合計	865,916	867,423
負債純資産合計	4,845,290	4,973,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,249,694	1,235,847
売上原価	1,025,225	1,044,699
売上総利益	224,469	191,147
販売費及び一般管理費	208,931	207,495
営業利益又は営業損失(△)	15,537	△16,347
営業外収益		
受取利息	14	9
受取配当金	497	2,593
受取賃貸料	4,311	5,007
その他	1,708	5,526
営業外収益合計	6,531	13,136
営業外費用		
支払利息	9,817	8,322
その他	1,941	2,243
営業外費用合計	11,759	10,566
経常利益又は経常損失(△)	10,309	△13,778
特別損失		
固定資産除却損	-	576
特別損失合計	-	576
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	10,309	△14,354
法人税、住民税及び事業税	744	650
法人税等調整額	△233	△236
法人税等合計	510	414
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	9,798	△14,768
少数株主利益	319	478
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,479	△15,247

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	9,798	△14,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,220	9,540
退職給付に係る調整額	-	6,783
その他の包括利益合計	7,220	16,324
四半期包括利益	17,018	1,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,699	1,076
少数株主に係る四半期包括利益	319	478

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,003,845	245,849	1,249,694	—	1,249,694
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,028	1,028	△1,028	—
計	1,003,845	246,877	1,250,722	△1,028	1,249,694
セグメント利益	59,267	5,699	64,966	△49,429	15,537

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	64,966
セグメント間取引消去	△658
全社費用(注)	△48,771
四半期連結損益計算書の営業利益	15,537

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	954,350	281,496	1,235,847	—	1,235,847
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	2,056	2,064	△2,064	—
計	954,358	283,552	1,237,911	△2,064	1,235,847
セグメント利益	30,741	1,298	32,040	△48,388	△16,347

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	32,040
セグメント間取引消去	△21
全社費用(注)	△48,366
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△16,347

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績及び仕入実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	883,292	+ 2.0
電気・輸送機器向	259,899	+23.7
合計	1,143,191	+ 6.3

(注) 1 金額は、生産実績は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	896,248	△9.8	319,000	△1.4
電気・輸送機器向	283,989	+6.5	99,735	△2.6
合計	1,180,237	△6.4	418,735	△1.7

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	954,350	△ 4.9
電気・輸送機器向	281,496	+14.5
合計	1,235,847	△ 1.1

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第1四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	233,018	18.6	237,421	19.2

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。